

Oyama Plant Sustainability Report 2025



富士通は、1935年の創業以来、「自然と共生するものづくり」という考えのもと、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけ、環境経営に取り組んでおります。



工場全景



ビオトープ



カモの親子

ごあいさつ

小山工場は、富士通グループの一員として、パーパスである「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていこう」の実現に貢献すべく、活動を推進しています。

豊かな自然に恵まれた小山の地で、私たちは従業員のウェルビーイング向上と地域社会との共生を大切にしながら、工場運営における環境負荷低減に積極的に取り組んでいます。具体的には、先進のネットワークインフラ製造を通じて、誰もがデジタルサービスの恩恵を享受できる安心安全な社会の実現に貢献します。さらに、生産活動におけるカーボンニュートラル達成への挑戦、資源の有効活用によるサーキュラーエコノミーへの貢献、そして地域生態系との調和を重視した生物多様性の保全活動にも注力しています。私たちは、これらの取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に向けてさらなるイノベーションを追求し、地域と共に未来を創造してまいります。



工場長 市川 裕一

事業所紹介

所在地 : 栃木県小山市城東3-28-1
開 設 : 1959年（昭和39年）11月
従業員数 : 約1,480名（グループ会社含む）
敷地面積 : 149,300㎡



環境活動

安心・安全な工場への取り組み

環境活動

地球温暖化防止への取り組み

富士通グループでは、グローバル社会におけるカーボンニュートラルへの取り組みが加速する中、「2030年度に富士通グループ自らが排出するCO₂をゼロエミッション」の達成を目指すこととしております。持続可能な社会の実現に向け、ステークホルダーの皆様と連携し、率先して課題解決に取り組んでいます。

小山工場の取り組み

CO₂排出量の抑制について

- ・再生可能エネルギー^{※1}の使用

富士通グループでは、カーボンニュートラル社会の実現に向けて、省エネの徹底に加え再生可能エネルギーの積極的な導入を進めています。2024年度は、グリーン電力^{※2}の購入や太陽光パネルの発電などにより再生可能エネルギー使用率が47.5%に拡大しました。

※1 太陽や風といった自然の力を利用したエネルギー全般

※2 グリーン電力は、再生可能エネルギーから得られる電気のこと

- ・廃棄物の抑制

プラスチックをはじめとした資源循環の3R（Reduce、Reuse、Recycle）に取り組み、社員一人ひとりが廃棄物の分別徹底を推進しています。

安心・安全な工場への取り組み

防災訓練の実施

自然災害や人為的災害が発生した際に被害を最小限に抑えるため、定期的に防災訓練を実施しています。地震を想定した避難訓練や火災を想定した初期消火訓練、さらにDRP（災害復旧計画）や非常時連絡体制の確認などを行っています。2024年度には小山市役所による防災講演を実施し、社員一人ひとりの防災意識向上に努めました。こうした取り組みを継続することで、災害時における迅速かつ的確な対応が可能となり、被害の抑制に寄与することが期待されます。



CSR監査の実施

フォトニクス製品の製造部門および管理部門が、2024年度にグローバルな電気通信事業者がサプライチェーンのCSR監査を協同で行う団体であるJAC（Joint Alliance for CSR）の監査において、最高得点である100点を獲得し、全ての監査項目（労働、安全衛生、環境、企業倫理、マネジメントシステム）で、グローバルなCSR基準を高水準で順守していることが認められました。

社会貢献活動

社会貢献活動

足尾の山 植林活動

足尾銅山では、煙害により荒廃した山々の復旧事業が、約100年も前から続けられています。2013年より植林活動に参加、足尾にたくさんの緑が蘇るよう、これからも継続して活動していきます。

防災備蓄品の寄付

災害への備えとして保管していた非常食を、小山市役所へ寄贈しました。地域の防災体制を支える一助となることを願っています。

ウィンターイルミネーション

正門と前庭に光の装飾を施したイルミネーションエリアを設け、12月の1ヶ月間一般開放いたしました。延べ2,500人の方にお越しいただき、楽しんで頂きました。

渡良瀬遊水地の環境保全活動

国内最大の遊水地として、数多くの貴重な動植物が生息・生育し、国の特別天然記念物・コウノトリが定着する「自然の宝庫」です。外来種植物の除去や清掃活動に、継続して参加しています。令和6年度おやまグリーン・アクション サポート団体として感謝状を頂きました。

おやまサマーフェスティバルクリーン作戦への参加

25万人以上が訪れるおやまサマーフェスティバル終了後、早朝の清掃活動に参加し、地域の皆さまと一緒に環境をきれいに保つ取り組みを行います。



安心・安全な工場への取り組み（環境）

環境基準の順守

大気汚染防止への取り組み

暖房、加湿用の蒸気ボイラーの24時間監視と定期的な整備と排ガス測定を行い、法定基準を遵守しております。

物質名	硫黄酸化物（K値）	窒素酸化物	ばいじん
法定基準値	7.00	180（ppm）	0.3（g/Nm ³ ）
測定値 ※3	<0.10	44（ppm）	0.003（g/Nm ³ ）

工場廃水の浄化への取り組み

製造工程で発生した廃水は、浄化処理の後に構内のピオトープ（最終放流生物監視池）を経由して排出しています。
廃水は定期的に分析を行い、法定基準を遵守していることを確認しています。

物質名	B.O.D (生物化学的 酸素要求量)	C.O.D (化学的 酸素要求量)	S.S (浮遊物質)	シアン	トリクロロ エチレン	フッ素	pH (水素イオン濃度)
法定基準値（mg/L）	25	25	50	検出されないこと	0.1	8	5.8～8.6
測定値（mg/L） ※3	11.7	4.4	13.2	不検出	不検出	0.1	7.9

土壌・地下水対策への取り組み

富士通グループでは、「土壌・地下水の調査、対策、公開に関する規定」を定め、法改正や社会情勢に合わせて適宜見直しています。土壌・地下水は規定に基づき計画的に調査し、汚染が確認された場合は、浄化・対策を実施するとともに、行政と連携して情報を公開しています。揚水曝気等による浄化対策と併せて、地下水の汚染による敷地外への影響を監視するための観測井戸を設置し、監視を行っております。

物質名	クロロ エチレン	トリクロロ エチレン	1、2-ジクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	浄化状況
環境基準値(mg/L)	0.002	0.01	0.04	0.01	敷地外への汚染流出防止 揚水曝気による浄化を継続 中（地下水浄化設備で無害 化）
測定値（mg/L） ※3	0.620	4.23	5.476	0.006	

※3 当該年度の最大値

お問い合わせ先

富士通株式会社

小山工場
〒323-8511 栃木県小山市城東3-28-1
TEL：(0285)23-8200

発行責任者 市川 裕一
編集責任者 杉山 辰将、横山 康晴
発行年月日 2025年10月27日
記載事項対象期間 2024年4月～2025年3月